



Title	都市学に対する社会学の貢献
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1958-12-01
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77331
Type	manuscript
Note	昭和 33年 12月 1日 ~ 12月 28日、「完了、発送」。
File Information	D009_0133.pdf



[Instructions for use](#)

松江礼録 2

NOTE BOOK

MADE BY SUPERFINE PAPER

都市に於ける
社会学者の貢献

33.12.1

II

完了 33.12.28
岩津

KA
20

絶之乎

七口の法律を犯さばハ格に監禁さす

序。為政者の理を操る教育が其の良に

為政者か其の文化に接するは出来ま

い。教育の施すも其の文化の機同也

統治機同の施設と大甲体並行して

場所も地帯も又定さず其の良は運路

交通通信の機同が統治機同と場所

と地帯も並行して又定さず其の良は

然て其の物も良流通の機同である

業機同も大体には同格であるが、商

取引の古くある地帯として統治機同の

本支の同格と異つた本支の本支の同

地理的

係をとり居るは是れよものかある、漸次統

治の流れの線に沿って流れて行く傾向にある

る事は是道せむ。宗教的教化の流れは

其の統治の流れを以て中心にある、如く

是れより居るか最下は名のみの本山は

各地に散在して居る、行政的民社会の各

地に及んで居る、教化の進歩は今では漸

首都に活動の中心を設けて行く傾向

がある。

社会文化のあり中、方面の活動は是れかの

民社会の領域に及ぶか、如く、大規模のもの

あれば此の中心の中心の活動機(同)を

首都に對しては、それがあらゆる意味
から最も優渥であり自然であるからであ
る。口民家の統制が文化のありゆき
方面に向き、あゝ人々の性質は、何れも
その家の指導許可を頼むをゆゑとするに
あつた片が、それは当然である。

口民社会は、その家の上の四世から
その片の社会であるから、その活動は、居残の社会 家内
同の施設は、に流つて 存在するものがある。に件ふ社会の

今日の社会学者は、家族や村落や都市
と共に口民社会について、深い組織的
な考察がゆゑである。口民社会の面
認識は、社会をたゞおへて、より大きな深
の二つである。

第三 都市の社会措置

他の都市を一つの独立した体系として
 見大端な都市の^{その内としての}存続と発展を形成
 して居る社会関係は如何なるものであろうか。
 社会学者の中心人同士の関係の中同
 僚の組織化固之他の秩序に於ては此の
 集團と社会関係とが^{社会的統一の三機}
 に分類するよりは社会政策の^{分析}分析
 に便当である。社会集團は關係の
 如く最も固著し組織化して居る同僚の
 統一である。社会関係は^{個人同士の}
 關係の型かや、^{個人同士の}關係の型か強と弱
 度されれば異なるものである。友人の關係程

近我者乎

子の同僚に兄弟の同僚。親分子の同僚
も皆の地りである。定型的な同僚の型は
有るよか、その同僚の抵抗力は他々の場合
による強弱の差が甚しい。

劣る社層の統一は嚴格な意味でその統一
の相抵に社層的統一は有るし、片有る

よのであるか、それではこれに社層的統一か
形成されるが、^{予備的}比較の度であつたり、その相抵

以内の社層関係が甚しく存在し
て片は、^{或る}程度まで片の形で
呼ばれて居るものである。所謂社層圏と

呼ばれて居るものや、固定して片の社
層階層をとりあへずである。

よかと思定めしり出来ぬ。

新社会の形態 ^{社会学} 分析の過程から我々の都市

の ^{社会} 層構造の考へが深いつけなう事を

思 ^可 するが出来ぬ。我々が都市の社会層

構造に同様の見解を確立したのは我々の

都市人の日常生活の理論によるもので

あり、その考へが深くない事を ^{結果} 嘆息

したのは、社会学的分析の ^{結果} 考へである。

新 ^新 社会の ^新 都市の社会構造理論

では都市生活を構成してゆく指し

基本的な社会集団は世帯と職場

である。学校は職場の予備的段階の

#

都市の生活構造の中心によつて

も破れさる。都市住民は皆何か

の世帯に属して居る。世帯に於ける

は職場の勤め時より学ばねばならぬ

である。又都市生活に於ける社会的抗力を

直接に受けて居る者は、職場がその

に属して居る人である。社会的抗力を

受けて居る者の甚かきものは、未熟な期

の幼児と生業に耐えぬ老人と病人と

として気合や活潑なものである。松の形印

田舎者の生活である。都市人口は正常人口の

二水も亦

社会集団として居る基本的な社会集団

と云ふ可いである。都市の中に幾分

やいふ片の各種の文化団体は都市の

アウセサリに過さぬ。生活充満集団と

之れを名づけて居る。余暇集団と云ふ

一本にはかくの如き集団の一種に地区集団

と名づけて居る。特別な集団がある。半官半民

な性格のものがある。都市行政団体の生活団体は都市に於ける

特殊団体として私は別に取扱つて居る。

世帯集団と職場集団併に比較

集団が都市の住民の生活の基本

的な構造を形造つて居る。は

正常な生活によつて生活の質を高める。は

は既に述べた通りである。

(註)

水田、都市の生活構造

都市の社会構造は社会的分層の操作より明らかになった都市社会の静態に於ける基本的構造を意味するものであるが、都市の生活構造は右、静態的、基本的構造のトに規則的に交互復して居る社会現象の周期的変化による動態現象即ち謂はば都市の脈動である。

都市の生活構造は一方に都市生活に於ける時間的な秩序の上に又一方に空間的な秩序の上に體定される。

巨大な空間的秩序において、巨大な

日記

の生活活動が秩序正しく進行して行
 くためには時間的・空間的約束が秩序の形に表
 現され、秩序維持はそれが基礎となること
 が重要である。又他は空間的
 要素は地理的主として地理的要素が秩序の
 一定の振幅を乱すことがないことが重要で
 ある。都市及びその周辺の秩序は人々の
 日々の生活に現はれる秩序の時空間的秩
 序の組織はどうか。又秩序
 の日々の生活に表はれる空間的秩序の
 組織はどうか。

都市市民の生活に秩序を与へる
 手段の

地方的規定は格々にあるかその中覺
最優秀のものに勤務時中」と決算せんに

同す。時中的規定 一全 に於ける

又今日の都市に於ける市民の生活を

最も決定的に地方的規定は職場及

学校に於ける地方的規定である 職心感への格別 都市

住民の生活を支配し居るに於ける

地方的な構造が職場と学校 ハ校 とにあり

るべき意味を以てする。

地方的秩序の回復を以て取あげこれ

の回復は格々のあるが、社屋を以て

全く新しい文化 同じ 都市は多くの研究



自然都市の地域的限界を認める
 には確然とする一つの歩みが必要である
 この第一生活地区の限界を定めること
 以外には先づいへば第一生活地区は
 市民一人一人世帯毎に異なるとして相
 隣接する二つの世帯も全く同一の第一生
 活地区を形成するのではなく少くも異な
 るものがあること相隣りする二つの世帯は大体
 同一の第一生活地区を形成するものである。自然都市の
 領域は互いにかくあはれく第一生活地区の限界
 を示しつゝ各しかり合ひながら連続して居る。

を得るべきである。

空間的秩序の問題としては市民生

活における地域的限界

と第一生活地区の限界

生活地区は日常生活中心物資購

入の中心である。生活地区は都

市を中心とする。ワレトエリ。

市の周りにある通勤通学圏及び

都市の機能を利用する利用者の圏

が中心となる。これを第一生活

圏とする。これは第一生活

圏である。

① 凡そ商業と工業が結合して片は工場は
 専ら多い。旧都市時代の如く存続して片は
 東京や大坂の老舗の中にもは商店と
 し一般に片は工場は片は商店の如く
 大抵工場を片は商店の如く多い。よい
 概の商売を片は商店は片は商店の
 物産を片は商店は片は商店の
 なかなか片は商店は片は商店の
 総計して片は商店は片は商店の
 それを有名として片は商店は片は商店の
 トが大抵片は商店は片は商店の
 である。各後の

私一人の足跡を以て余り述べては
 いたるが殆ど片は商店は片は商店の
 である。

②

一。私の主張に対する批判に

答へ

拙著「都市新学」を原稿に對して前々

不審に思はれし片は商店は片は商店の都市

を論ずるに由り、都市新学の説明

が充つて居るが、片は商店は片は商店の

は、この疑問に對する。私の意見は其の如く

である。片は商店は片は商店の

近代的な工場は木もする、片は商店は片は商店の

店としての働きの片は商店は片は商店の

それは片は商店は片は商店の

である。その片は商店は片は商店の

一瞥しては片は商店は片は商店の

新図

の大小は

三校アート表紙

の記憶ではあるが、この時タイム
ハリユートとフレスコハリユートを産
み出すのが、常任をかねて

△ 又工業と商業は、互に在りて成るもの
の如きものである。工業も商業も同様に原料
の各種を集めて、之れに何れかの加工を
おほして、是れを賣りさすべく、

我々の工業界のありしを、
商人が物を仕入れて賣りさすべく、
加工の工程が、
民間の間に、
あると、
加工の工程が、
コーヒの粉と砂糖とを混ぜて、
の工程で、
古い工業界は、
は、
焼く、
あるから、
ビニール工場、
必要は、
料を、
さすべく、

工業も商業も、
高貴な物を、
の文化を、

大テパートヤ花巻と大井場の花巻が
メーカー

である。中流を、

メーカーの心配はオートメーションシステム
にまわす、
朝生産の、

メーカー、
調整のため、

これは、
今日の大工場、
親しい。
では、

テパートの、
普及を、

テパートの、
普及を、

普及を、

テレビの広告は、スーパーには多額であらう。

地域内

の店舗に理はれぬ。範囲域。この都市
 内の金。スーパー及び^全商店の総合的ソレ
 ートエリヤが、結局の初。所謂都市新
 団園が、^{をなすもの}五ヶ所あり。日の交通機匠を
 物用して、山片道二時以上を越すものは
 定済上不可能である。然し、スーパー
 の広告は、所沖放かくの如き範囲内の
 人に訴す。広告は、先づである。然し、
 今回の新聞広告に見よ。電線器具や葉
 巻や書籍の広告は、その及ぶところ
 〇民社等の全地域^内に、勿論、時には海外
 にも及んで居る。メーカーが造り出した

④ならば大工場の集まり、片々都市と
同様の大工場の集まり、片々都市と
は同様の都市性をもつものであ
らう。

都市が都市たる可成り程に高い都市
度が認められる。都市性の高低は人口
の多寡によらず、物産の多寡によらず、
都市性は、故に都市性の種類を異に
の多寡に基き、見分け得る。都市性の
し、生業の種類の多寡は、都市性の
所傳と生活水準によつて支配される。一大都市は
工場での都市性が認められ、工場も都市性
で認められる。都市性は、都市性の
余り高くはない。大工場の都市性
夕張も都市性は高くはない。大工場の都市性
大工場の高大不連続物が、大工場の都市性
あつて、工場が多く、工場が、大工場の都市性
大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性
調律師の何人か、大工場の都市性
大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性
大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

際限なく

製造物ば空気の状態に、どこまで飛ぶか、散
らうと、大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

大工場の都市性は、工場が、大工場の都市性

都市文化

によって即ち

やまの生産性

大都市の外観も建造物や人の数によつて

誤認される事、都市の外観と都市性

を混同してはならない、調律師文化は

し、片も文化は高くない文化が有る事

都市文化、私は文化の高い都市か

高次の都市なるを以つて都市性を示す

文化が高くないものは、都市性を示す

は、先づの分化が、片も文化が

調律師の伝へる片も、都市性は

加高の要は、都市的機関の分化の

程度と、都市が都市性を決定する。

都市の高度は、工場、生活活動によつては、
都市の高度は、工場、生活活動によつては、
都市の高度は、工場、生活活動によつては、

領地の整備された程度によつては、
領地の整備された程度によつては、
領地の整備された程度によつては、

都市文化、都市性は工業都市より高い

都市性を示す。

私は嘗て農村の研究に心を尽して、片も

多くの特異な形の村を見出し、かゝる

瓦を物かきする村は原料、土や燃料

になる、物かきのために同一の場、
物かきのために同一の場、
物かきのために同一の場、

物かき、物かき、物かき、物かき、
物かき、物かき、物かき、物かき、
物かき、物かき、物かき、物かき、

に、物かき、物かき、物かき、物かき、
に、物かき、物かき、物かき、物かき、
に、物かき、物かき、物かき、物かき、

片も、片も、片も、片も、片も、片も、
片も、片も、片も、片も、片も、片も、
片も、片も、片も、片も、片も、片も、

と、片も、片も、片も、片も、片も、片も、
と、片も、片も、片も、片も、片も、片も、
と、片も、片も、片も、片も、片も、片も、

都市性は、都市の高度、
都市性は、都市の高度、
都市性は、都市の高度、

盛大に平野して、片も、
盛大に平野して、片も、
盛大に平野して、片も、

領地の整備された程度によつては、
領地の整備された程度によつては、
領地の整備された程度によつては、

領地の整備された程度によつては、
領地の整備された程度によつては、
領地の整備された程度によつては、

を賑やかにする。又の購買力をいふ人にか

如何に多数集まるべし。都市は低い。夕

陽也八戸市の如き地方は、^{地味}銀座市

市村表は工場都市である。^{収入は余り高くない}、

働きの工場労働者もその生活水準は

高き点や日一層に多々や公官吏たしよ

り低い。故にその都市の消費機同の

設置は多くなり故に都市性は低い。

都市性はその都市住民の平均収入

の上下に支配される片よ。平均収入が

生活水準を支配し生活水準が都市

の文化的設置を支配するからであらう。

$$\begin{array}{r}
 2440 \\
 51 \overline{) 1150000} \\
 \underline{102} \\
 480 \\
 \underline{459} \\
 210 \\
 \underline{204} \\
 60
 \end{array}$$

✓ 工場等の所得は一日十万円とし再十人

の工員米の所得は一日平均五百円とする。

工場と工員と合せて五十一人で全所得

十万円と五万円で

計十五万円の

凶害の如クファイリ

故市民一人者ノ所得

富戸都市が都市税を高いなりす水
 文官吏の収入が高しきを意す。

今都市多額に於て此の逆増を以て

財を以てしたるは、何れも其の形

位に於て其の形を以て何かを以て

の一説か次の様なる旨を以て調へて

とするに由る。

全に於ては、都市の此の二つ

一、工員米の比率が高い都市の地位

一、生活水準の職種の多さの地位

一、市民一人者所得の高位の地位

一、文化的施設の多さの都市の地位

一、都市の機能の多さの地位

此の四つの地位を以て、都市の地位

右の四つの地位を以て、工業

何を意味。

と同じ位の高価なものとなつた。これは
工場都市は物産の
高価の都市
物を出つ。

111

12
21

「存心」新正申要作可

- 432. 果落北全較は本文上9を63...IT乙=4可
- 434. 創始の史画作教為10は各1とIT乙
- 212. 表の書
- 102. 記行を流所は記行を子孫に傳
- 119. 表
- 144. 中島虎は北のし乙宮
- 128. 交通の結節は國機は機(圖)IT乙
- 58. 清所所の所
- 11. 世帯の如可は既に可IT乙

4